

# 2020年度小川学園事業計画書

## I. 2020年度事業計画の概要

「遊びを通し基本的生活習慣を身につけさせ子ども本来の力を伸ばす。」を教育目標に掲げています。小学校に入学しても先生の話聞くことのできる子の育成、子ども本来の力を引き出す保育、子どもが「学ぶ」というのではなく共に生活する（一緒に遊ぶ）ことで子どもの可能性を伸ばすこと、知育、人間力、生きる力、人間関係を育成することに重点を置いています。子ども達が幼稚園での日々の生活とそれを支える「環境づくり」を保育者や仲間と共有することで子ども達は様々なことを覚えたり身につけたりできるように環境整備を充実させていきます。

## II. 新規事業

### 1. 学園全体

#### 教育計画の検討（幼稚園と認定こども園の課題）

当学園の幼稚園は長年にわたり、幼児教育に専念してきました。近年急速な少子化の進行やご家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、保護者や地域の多様化するニーズに応えるために認定こども園の制度が創設されることになりました。しかし当学園はこの制度に移行するのではなく幼稚園における幼児の教育・保育の役割の中で幼児期の本来の成長を促すことを大きな課題として、教育計画を実践しています。

### 2. 施設・設備

#### 土気中央幼稚園事業

##### ① グランド環境整備

昨年度、大きな台風に見舞われグランド南崖大きく崩れ補修工事をしたが、引き続きグランド排水工事・崖工事を3年計画で行う。

##### ② 温水プールの改修工事

令和2年度より2年計画にて工事を行う。

##### ③ 中庭環境整備

中庭の芝生部分の一部が育成が悪いので一部張替工事を行う。

#### **あすみ中央幼稚園事業**

##### **①変電設備工事**

老朽化に伴う交換工事を行う。

##### **②環境整備事業**

30年度より取り組んでいる環境整備の一環でトイレ改修工事を行う。

### **Ⅲ. 教育・研究**

#### **1. 園内研修**

日常保育の質の向上のために研修主任と教務主任による園内保育実践研修を行う。非認知能力を引き出す保育を実践する。

#### **2. 継続研究**

幼児の基本生活・基本指導を継続する。

1) あいさつをする

2) 靴をそろえる

3) 正しい姿勢（立腰）で過ごす

#### **3. 日常保育・行事の研究**

① 日常保育がマンネリ化しないように、常に新しい保育理論を取り入れて保育する。

② 行事の見直しを行い、幼児が喜んで参加したくなるものとなるように検討し、 研修する。

#### **4. 正課保育の充実**

普段の保育の中に専門講師による時間を増やし子ども達が安心して遊びながら物

事に関われるよう研究する。

## **5. 防災訓練と安全教育**

計画に沿って訓練を行う。東日本大震災がおきた「3.11」を忘れずに、火災訓練、避難訓練を行う。

## **6. 教職員の資質の向上**

教職員の資質向上に努める。千葉市幼稚園協会の研修には必ず参加する。また、個別の研修会に参加できるように支援する。

## **7. 家庭との連携**

保護者との個人面談を通して、保育者と保護者が連携して子育てに取り組むことを大切にする。

## **8. 子育て支援に関する援助**

預かり保育の充実。保護者の希望に沿っているができる限り子どもとの関わりを優先するように家庭教育の大切さを示す。預かり保育のカリキュラムを作成し、利用者に示すようにする。